



Men and Women for Others
上智大学

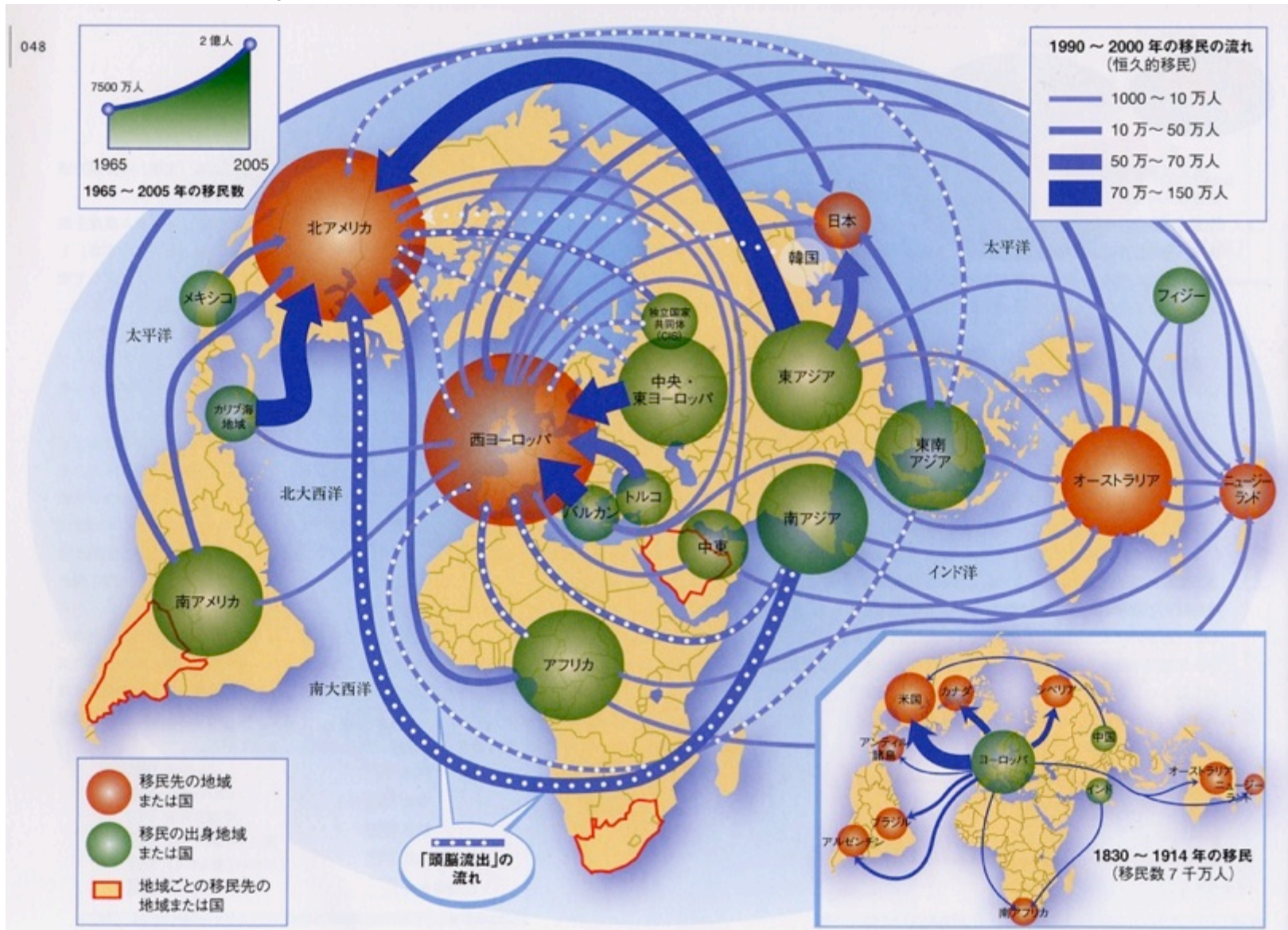
第18回厚生政策セミナー
国際人口移動の新たな局面～「日本モデル」の構築に向けて

21世紀の国際人口移動政策
-歴史的視点からの提言-
International Migration Policy of 21st century
- a Proposition from Historical Perspective

2013年10月31日
女性就業支援センター

鬼頭 宏（上智大学経済学部）

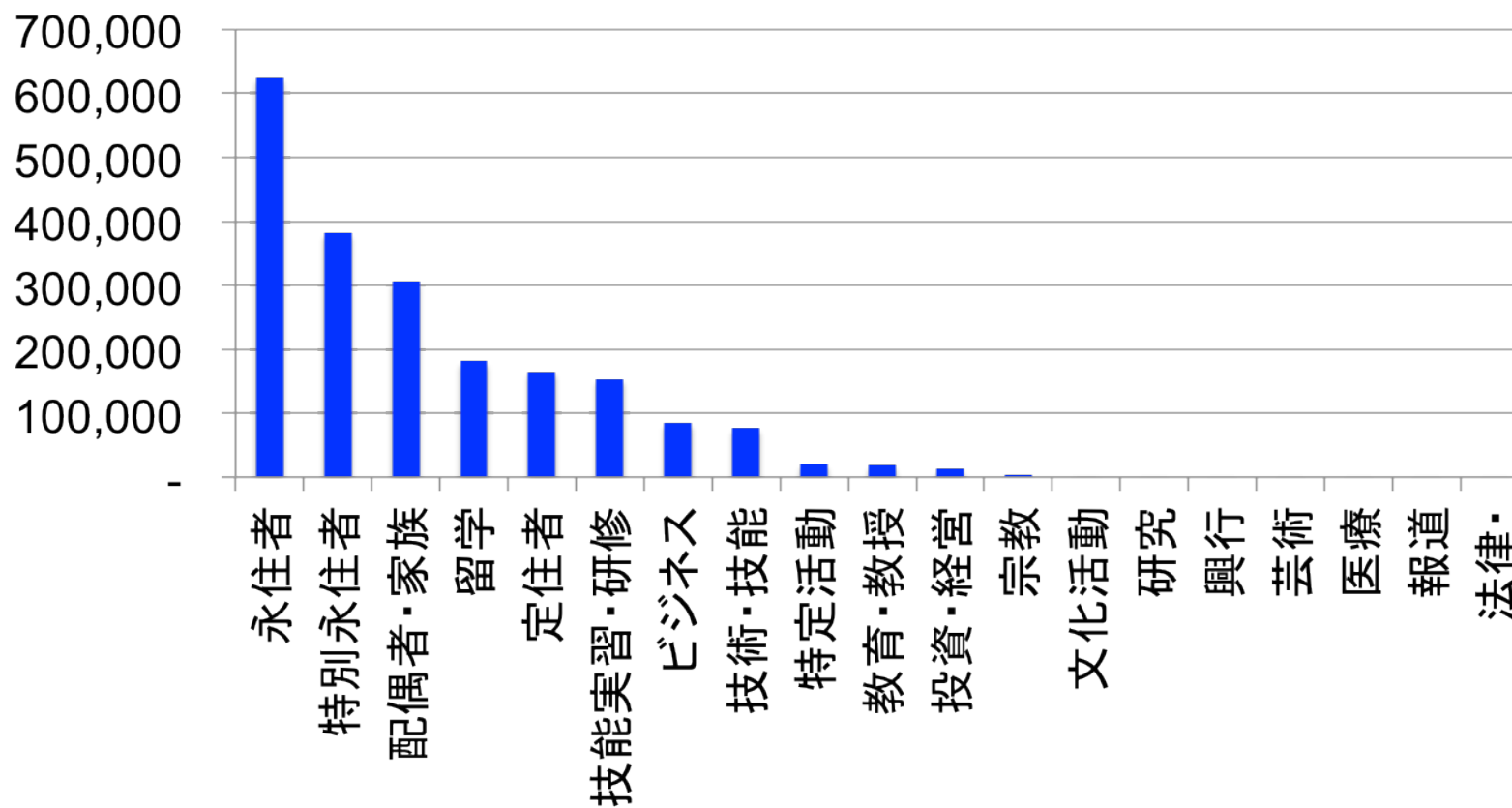
変容する国際人口移動



出所: Boniface, P. et Védérine, H. 『最新世界情勢地図』 ディスカヴァー トウエンティーン 2011年

資格別在留外国人

—法務省 2012年12月—



注：報告者による再分類(統合)

日本における外国人人材への期待

- EAP, TPP等の連携拡大と強化は、国際的な人的交流、とくに「高度人材」の交流を促進
- 総人口・生産年齢人口の減少、賃金コスト高騰・人材不足(とくに3K職場)は外国人労働力に期待



- 問題点:労働市場の攪乱, 文化摩擦, 社会不安

例：「外国人の受入れと社会統合のための国際ワークショップ」

2011年2月 外務省・新宿区・上智大学・IOM共催

- 外国人受入について、国民的理解と合意の形成をめざす必要、日本の社会全体の方向性を示すグランドデザインの必要が提案
- 日本人労働者のキャリア開発・人材育成に注力しつつ、高度外国人材を受入れること、包括的社会統合政策が必要であるという点で、基本的に認識が共有
- 非熟練労働者、高度人材、社会統合、グローバル化に伴う人の移動についてさまざまな見解

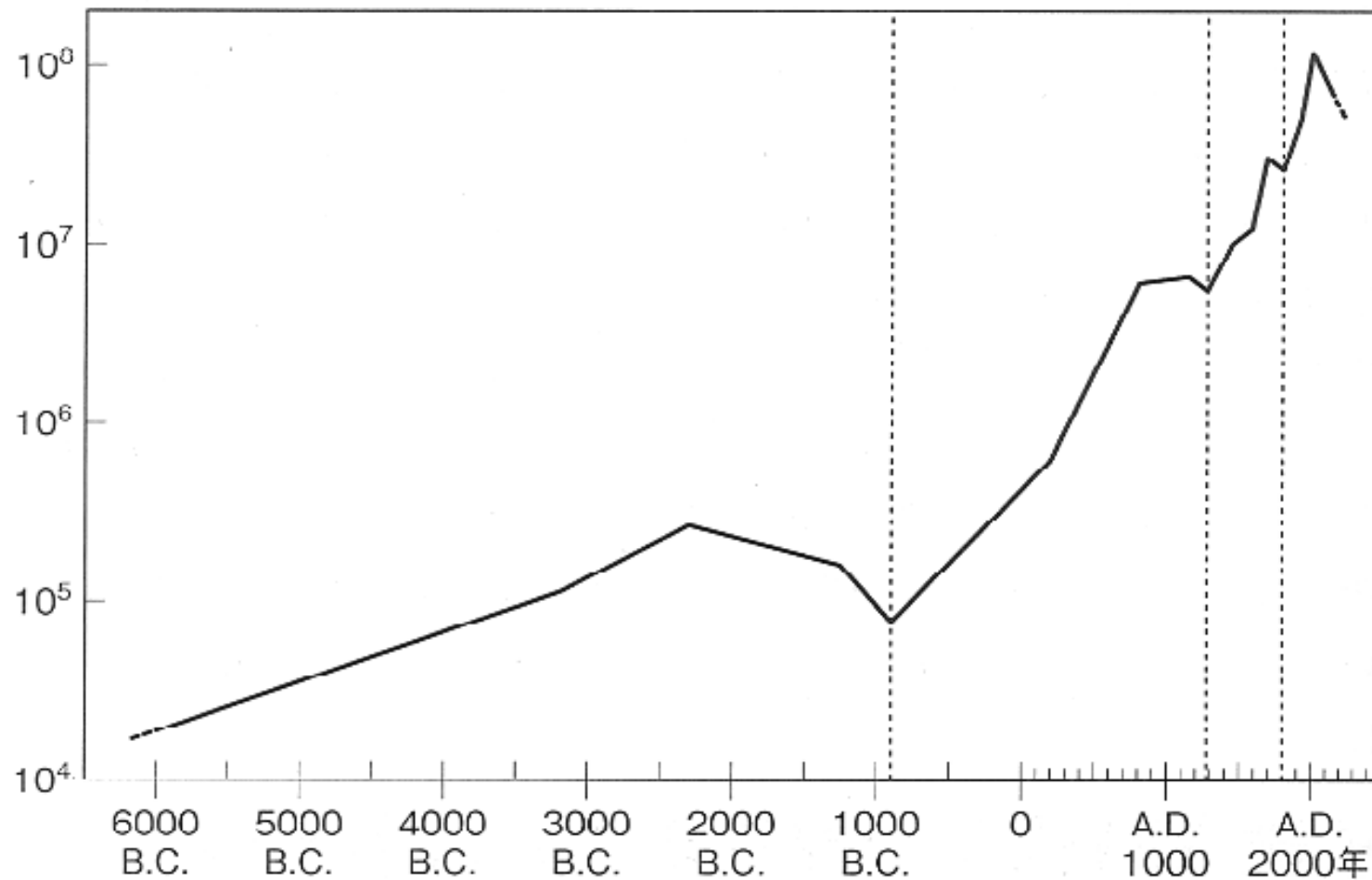
「日本型移民政策」の提案例

- 適正な受け入れを推進する移民政策研究所の必要
- 「獲る」のではなく「育てる」政策:「日本の高等教育機関や職業訓練機関で外国人を一人前の職業人になるように育成したうえで、就職を支援し、永住を認め、速やかに国籍を与える」(p.14)
- 多民族共生国家(「雑種系民族」)の樹立

資料:坂中英徳『日本型移民国家への道』(増補版) 東信堂 2013年

日本人口の波動的成長

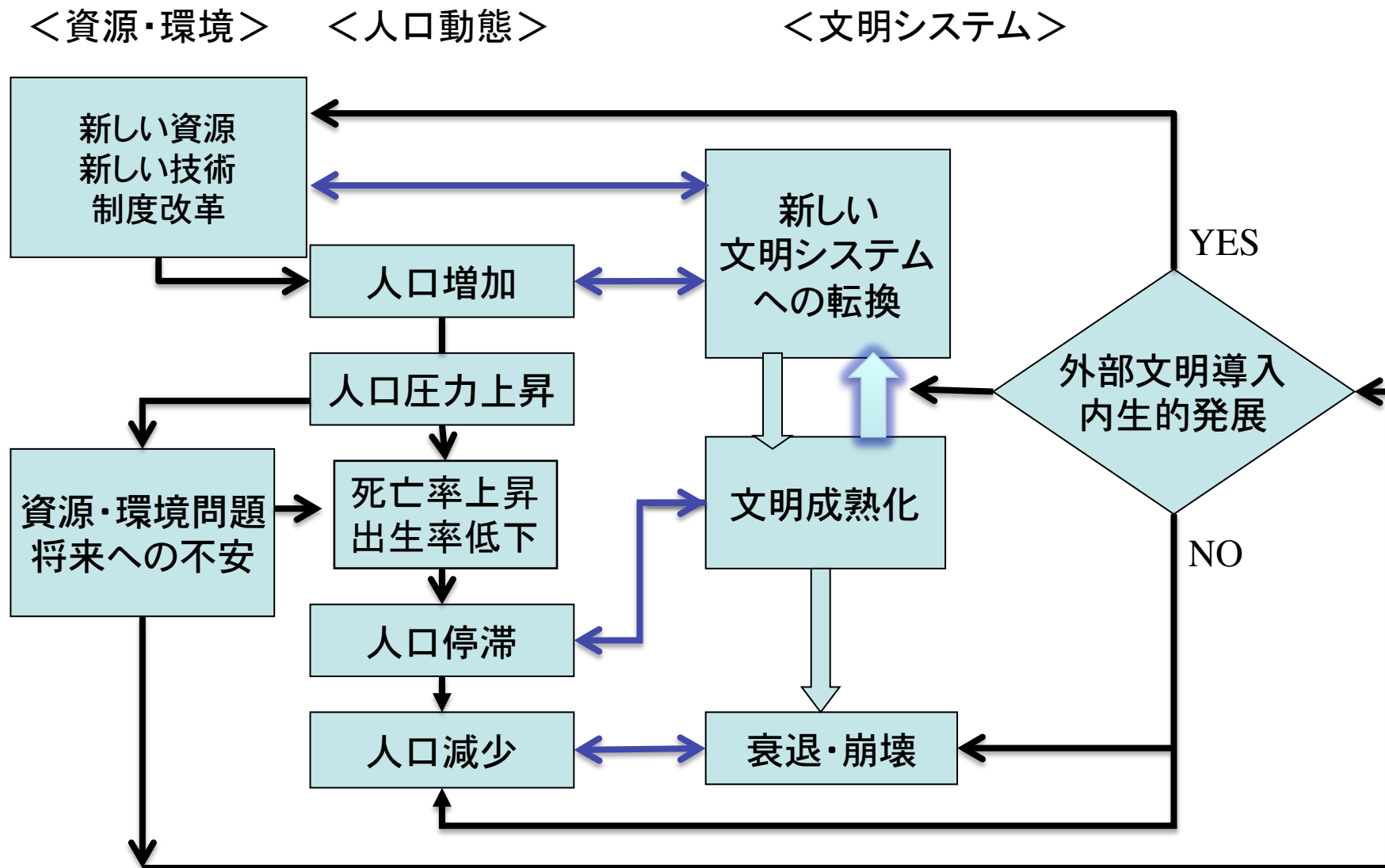
人口増加期は文明転換の局面



文明システムの比較

	1 縄文	2 水稲農耕化	3 経済社会化	4 工業化
最大人口密度(人/km ²)	0.9	24	112	345
文明の段階	自然社会	農業社会 (直接農産消費)	農業社会 (間接農産消費)	工業社会
エネルギー資源	生物+人力	生物+人力+自然力 (有機エネルギー経済)	生物+人力+自然力 (高度有機エネルギー経済)	非生物+自然力(水力) (鉱物エネルギー経済)
主要な経済様式	伝統経済	伝統+指令経済	伝統+指令+市場経済	市場経済

文明システムの転換モデル(試案)

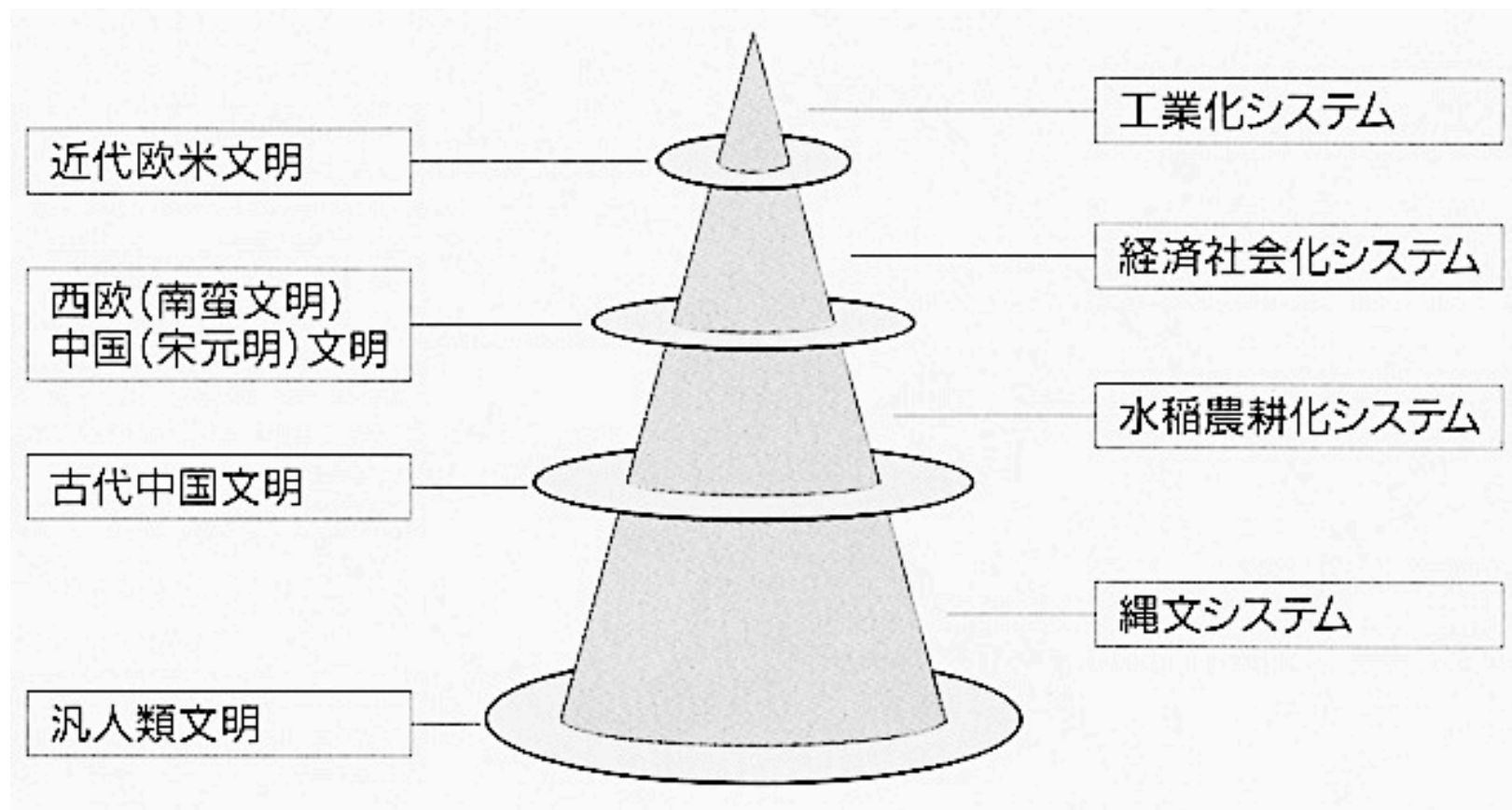


文明転換における外部文明の寄与

- 縄文人： 東アジア諸地域から複数ルートで日本列島へ渡来
- 弥生人と水稻農耕文明： 中国大陸、朝鮮半島からの渡来人による国家形成
- 近世文明： 中国、朝鮮、ヨーロッパからもたらされた技術、知識、貨幣などが基盤
- 産業文明： 欧米からの産業技術、社会・経済制度の導入が基盤。東アジアにおける人的交流の相互の影響

外部文明との接触と日本文明の転換

文明転換は外部文明の導入によって起きた



結論

- 21世紀における日本人口の減少は不可避。人口崩壊は日本社会を脆弱化し、「持続可能性」を毀損
- 社会の変容を通じて成熟社会への文明転換に寄与：外国人移民の受入れは、単なる労働力不足の補充ではない。歴史的に、日本のライフスタイル、社会の変容は外部文明との接触がきっかけとなった。
- 東アジア、東南アジアでは、すでに生産年齢人口の減少が始まりつつある。移民統合政策の確立が迫られている。